

第60回 近畿消化器内視鏡技師学会 《パネルディスカッションのご案内》 テーマ 『施設で取り組むEMRの創意工夫』

座長

医療法人マックスール巽病院
神戸大学病院

伊東百合子
吉村 兼

医師コメンテーター

大阪府立成人病センター

竹内洋司先生

EMRはESDが標準治療として保険適応になった現在でも依然として施設の規模を問わずに施行しておりますが、施設毎に穿刺針やスネアの選択、局注液の種類等、病変の大きさや形態に応じて治療方針が異なると思います。そこで今回はEMRに視点を絞り、施設におけるEMR適応や成績を示して頂き、どのようにスネアや高周波の設定、偶発症対策などを行っているかディスカッションしたいと思っております。併せて、学会テーマである『情報共有がもたらす安全な内視鏡医療』の観点からEMRに関するインシデント事例や貴重な症例報告での発表も幅広く募集しております。また、今回のパネルディスカッションは地方学会ならではの企画として、医師からの発表も心よりお待ちしておりますので、医師と内視鏡技師がコラボレーションしながら職域の垣根を越えて臨場感あふれるディスカッションとなる事を期待しております。

尚、発表の際には実際の症例を動画にて呈示して頂きたいと思っておりますので、演者の皆様にはご協力のほどよろしくお願いします。

演題募集期間：2012年10月22（月）～11月5日（月）

第60回 近畿消化器内視鏡技師学会
会長 阿部 真也（大阪医科大学附属病院）